

# が さ ぐ る ま

ひと 未来 輝いて



平成18年度山形県社会就労センター品評会  
工芸の部(七宝焼) 優秀賞(ひまわり) 八嶽一郎氏作品  
ワークショップ明星園

特集1  
第三者委員による山形県社会福祉事業団将来構想懇話会の設置

特集2  
(社福)山形県社会福祉事業団概要

身体障害者更生施設 梓園(米沢市)  
地域でその人らしく暮らすために

希望が丘 こだま寮(川西町)  
「障がい者の社会参加推進拠点作り事業」に取り組みました

レキシコン  
障害者自立支援法に基づく指定相談支援事業

トピックス  
山形県社会福祉事業団主催のセミナー・シンポジウム・  
研修等の開催状況について(H18年度)

障害者施設の利用状況について



七宝焼製品  
利用者の方が手作業で作りに上げて  
います(ワークショップ明星園)

# 第三者委員による山形県社会福祉事業団将来構想懇話会の設置

様々な法改正や制度変更等による急激な環境変化に対応して、今、事業このようなことから当法人では有識者6人による将来構想懇話会を設置  
特集1としてこの懇話会について紹介します。

団としての中・長期展望の構築が求められています。  
し、将来展望や構想等に関する意見や提言をいただくこととしました。

○事業団は、昭和40年に社会福祉法人として設立され、長年県立施設の受託経営を中心に運営してきました。この間、社会福祉基礎構造改革が進められ、介護保険制度や支援費制度の導入、事業団の設立根拠であるいわゆる46通知の改正など諸施策が大きく変化し、事業団としても平成11年度以降「事業団あり方研究会報告書」に基づく経営改革の実施や、平成17年度からは、「中期経営計画に基づく5か年実行計画」として、事業や組織の見直し及び給与見直し等を含む経営改革を実施しています。



(小笠原会長)

○平成18年度からは、指定管理者制度が導入され、今後平成22年度までの5年間、9つの県立施設の管理運営を行うとともに、県における公社等の見直しや障害者自立支援法による新事業体系への移行に伴う経営への影響、また、積極的な地域生活移行推進に伴う入所施設での利用定員割れなどの諸課題が生じ、これからの事業団を取り巻く経営環境は著しく変化しております。

○このようなことから、今後事業団が担っていくべき役割や、経営体としてのあり方等事業団の中・長期展望を構築するため、事業団内部の議論と情報の共有化を図るほか、有識者による第三者からの意見も伺うこととしました。

○平成19年1月18日に山形県社会福祉事業団将来構想懇話会の設置要綱を制定し、第三者委員6人に委嘱状を交付しました。平成19年8月を目途に懇話会としての意見・提言等の報告をまとめるとともに、その後は、事業団の将来展望・構想等に関するアドバイス等をいただく予定としています。

(H19.3.31現在)

	所属・職名・氏名				所属・職名・氏名		
会長	東北福祉大学教授	教授	小笠原浩一氏	委員	宮城県社会福祉協議会	地域福祉部長	小野 隆一氏
委員	神奈川県立保健福祉大学	助教授	福士 貴子氏	委員	川原経営グループ	主任コンサルタント	新藤 建氏
委員	山形県社会福祉協議会	事務局長	松田 昭裕氏	委員	山形県知的障害者福祉協会	会長	井上 博氏

## 基本的論点と今後の進め方

### 事業団の将来を展望すること

法人経営を取り巻く環境の変化と事業団の将来展望に向けた経営ビジョンの必要性

### 今までの事業団とこれからの事業団

これからの事業団は、今までとは明確に異なる法人として再構築していく必要がある。  
その視点とは……。いくつかの選択肢……。

### 新しい事業団の経営目標の整理

激変する福祉環境の中で、新しい事業団が目指す経営目標を設定する。特に現事業団が有する特質をどのように発揮するか……。

例えば、市町村との連携、事業の複合化、地域福祉の展開、発展の推進役、自立した法人経営等の視点での議論など……。

### 事業団の将来をどう展望するか

現状の課題対応での展望や、事業の継続と一定の新事業展開など……。

(※新事業体系への移行計画、県立施設のあり方検討などと連動)

### \*目標のステップアップと展望

視点を「人材や能力の高度活用」に置いたとき、職員(法人)が何をしたいのか、どうなりたいかの観点から「経営目標(内容)」のステップアップとその実現性……。

\*現法人の枠にとらわれない展望を試みる……。

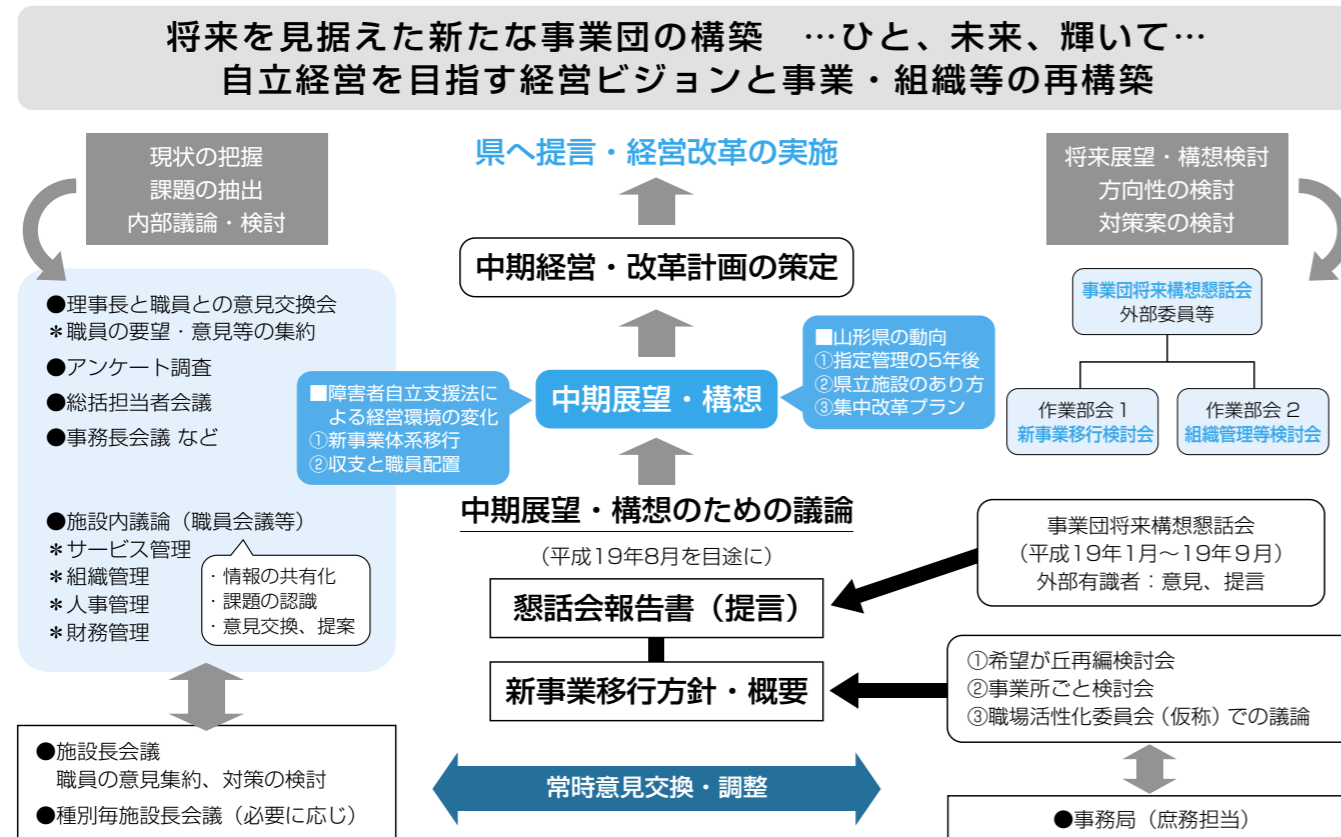
### 展望目標を実現していくための法人としての最低限の必要条件

人材の確保、組織の活性化、経営管理体制の強化、財務基盤の強化、県委託費の削減、…など、新しい法人を目指していくための必要条件とは……。

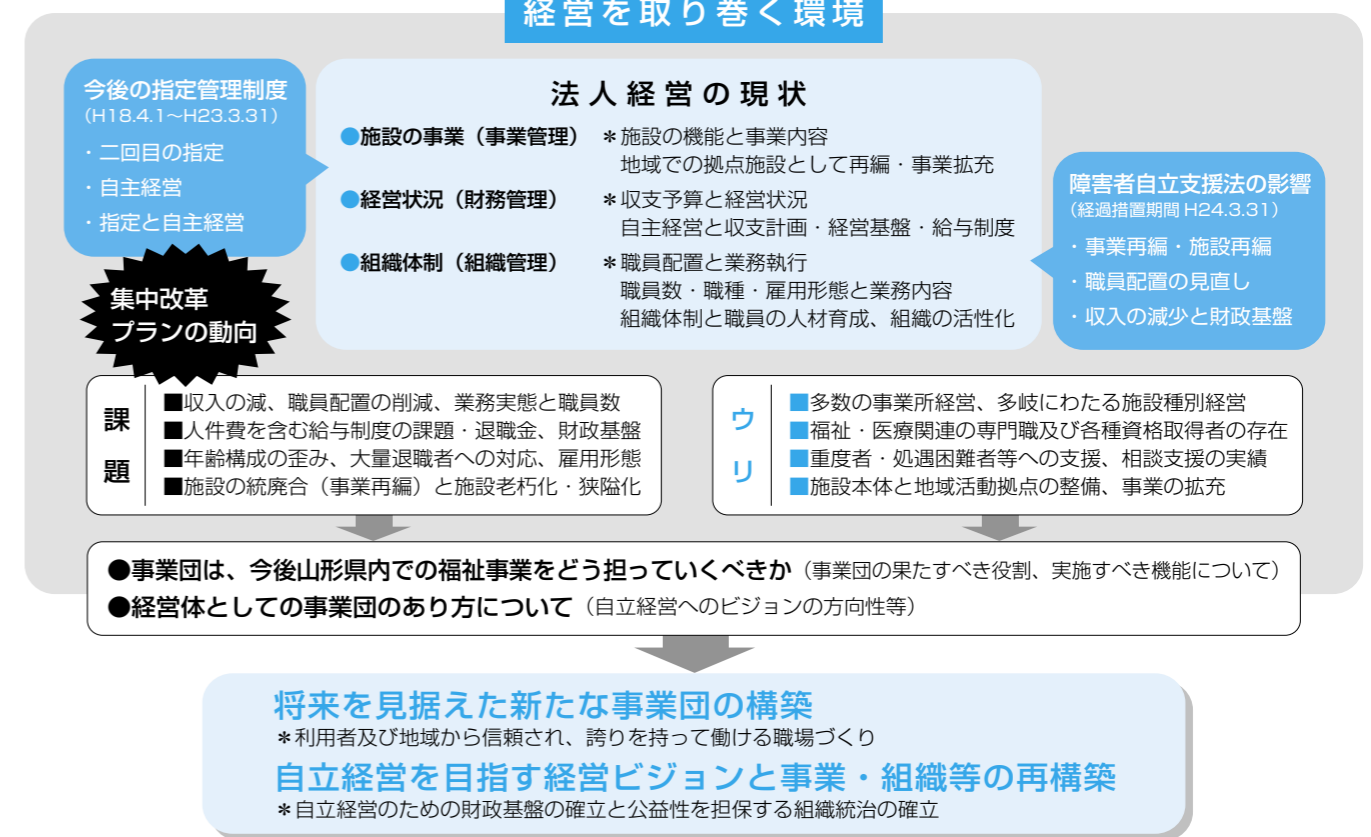


第1回懇話会

## 「中期展望・構想」策定までの概念図

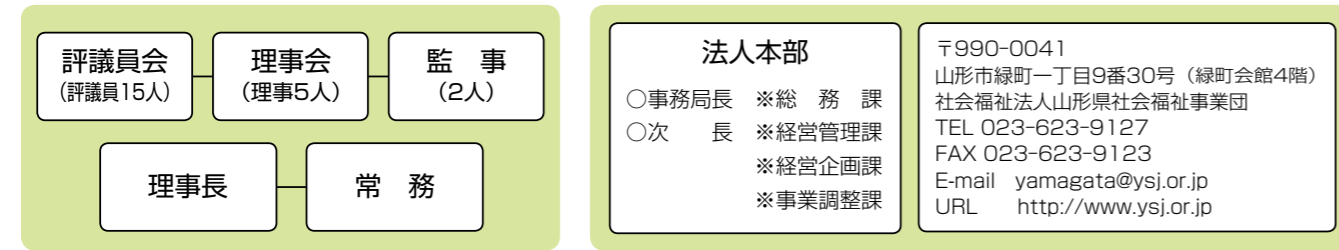


## 「懇話会で議論する概要イメージ」



# (社福)山形県社会福祉事業団概要

山形県社会福祉事業団が運営する事業は、県内各地で実施されています。特集2では、その主な概要をまとめてみました。福祉施設はもちろん、在宅・地域福祉分野での総合的な事業展開がみえてきます。



## 庄内老人・障害者保健福祉圏域

### 遊佐町・酒田市

**特別養護老人ホーム「松濤荘」** (入所定員100人)  
〒999-8531 遊佐町菅里字菅野南山7番地1  
TEL 0234-76-2103 FAX 0234-76-2147

- 松濤荘居宅介護支援事業所
- 松濤荘短期入所事業所 (併設型：定員4人)
- 松濤荘介護予防短期入所事業所 (併設型)

**知的障害者更生施設「吹浦荘」**  
(入所定員70人、短期入所定員6人)  
〒999-8531 遊佐町菅里字菅野南山21番地14  
TEL 0234-76-2516 FAX 0234-76-2518

- 吹浦荘共同生活事業所 (定員24人：知的対象一体型、遊佐2、酒田4か所)
- 地域での施設外作業所「にこっと」(遊佐)「ちよこっと」(酒田)各1か所 荘独自事業
- 地域での生活実習ホーム (酒田) 1か所 荘独自事業

**庄内障害者就業・生活支援センター「かでる」**  
3障害、庄内保健福祉圏域対象  
〒998-0857 酒田市若浜町1番40号  
TEL 0234-24-1236 FAX 0234-24-1236

**「サポートセンターあおぞら」**  
指定相談支援事業所 (酒田市、三川町及び遊佐町)  
〒998-0857 酒田市若浜町1番40号  
TEL/FAX 0234-22-9980

### 鶴岡市

**知的障害者更生施設「慈丘園」**  
(入所定員70人、短期入所定員3人)  
〒997-1117 鶴岡市下川字窪畑183番地5  
TEL 0235-75-2862 FAX 0235-75-2877

- 慈丘園共同生活事業所 (定員13人：知的ケアホーム、住居鶴岡3か所)
- 施設外地域作業所「ジョブセンター慈丘園」 園独自事業
- 地域での生活実習ホーム (鶴岡) 1か所 園独自事業

**身体障害者授産施設「鶴峰園」**  
(入所定員50人、通所定員12人)  
〒997-0752 鶴岡市湯田川字中田35番地1  
TEL 0235-35-2351 FAX 0235-35-2381

- 地域での生活実習ホーム (鶴岡2か所) 園独自事業

**利用施設「寿海荘」** (定員宿泊休憩56人)  
福祉休養ホーム  
〒999-7204 鶴岡市湯温泉字湯乃里88-1  
TEL 0235-43-4173 FAX 0235-43-4174

## 最上老人・障害者保健福祉圏域

### 真室川町

**特別養護老人ホーム「福寿荘」** (入所定員100人)  
〒999-5314 真室川町大字木ノ下1101の1  
TEL 0233-62-2396 FAX 0233-62-2234

- 福寿荘居宅介護支援事業所
- 福寿荘短期入所事業所 (併設型：定員5人)
- 福寿荘介護予防短期入所事業所 (併設型)

## 村山老人・障害者保健福祉圏域

### 河北町

**救護施設「みやま荘」** (入所定員100人)  
〒999-3502 河北町大字吉田字馬場11番地  
TEL 0237-72-3181 FAX 0237-72-4067

- みやま荘共同生活事業所 (定員27人：知的GH12人・精神GH15人、河北5か所)
- 共同住居1か所 (荘独自事業)
- 地域での施設外作業所「ワークステーションだんだん」 「のどか」 荘独自事業

**サポートセンターういんず**  
〒999-3511 河北町谷地己8番地6  
TEL 0237-73-3240 FAX 0237-73-3253

- 指定相談支援事業所 (寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町及び大石田町)
- 地域活動支援センター (寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町及び大石田町)
- 職場適応援助者による支援 (ジョブコーチ)

### 大江町

**特別養護老人ホーム「大寿荘」** (入所定員100人)  
〒990-1121 大江町大字藤田839番地の1  
TEL 0237-62-4328 FAX 0237-62-4329

- 大寿荘居宅介護支援事業所
- 大寿荘短期入所事業所 (併設型：定員5人)
- 大寿荘介護予防短期入所事業所 (併設型)

### 山形市

**身体障害者通所授産施設「ワークショップ明星園」** (通所定員30人)  
〒990-0811 山形市長町728番地2  
TEL 023-684-3781 FAX 023-684-3876

- 明星園生活介護事業所 (定員10人、身体障害対象)
- 明星園共同生活事業所 (定員8人：知的障がい対象一体型、山形市青柳)
- 地域での施設外作業所「ゆあーず」 園独自事業

**村山障害者就業・生活支援センター「ジョブサポートばる」**  
〒990-0861 山形市江俣一丁目9番26号  
TEL 023-682-0210 FAX 023-682-0211

## 置賜老人・障害者保健福祉圏域

### 長井市

**「サポートセンターおきたま」**  
■指定相談支援事業所「サポートセンターおきたま」(川西町、白鷹町及び飯豊町)  
■置賜障害者就業・生活支援センター  
〒993-0016 長井市台町4番24号  
TEL 0238-88-5357 FAX 0238-88-5368  
分室相談受付窓口「サポートセンターあずさ」(米沢市中央)

**特別養護老人ホーム「寿泉荘」** (入所定員100人)  
〒993-0033 長井市今泉1857番地  
TEL 0238-88-9127 FAX 0238-84-2276

- 寿泉荘居宅介護支援事業所
- 寿泉荘短期入所事業所 (併設型：定員4人)
- 寿泉荘介護予防短期入所事業所 (併設型)

**救護施設「泉荘」** (入所定員80人)  
〒993-0033 長井市今泉1812番地  
TEL 0238-88-9211 FAX 0238-83-3068

- 泉荘共同生活事業所 (定員17人：精神GH、長井市今泉5か所)
- 救護施設居宅生活訓練事業 (長井市今泉)
- 地域での施設外作業所「サポートステーションくるみ」 荘独自事業

### 川西町

**知的障害者援護施設「総合コロニー希望が丘」**  
(定員500人：更生施設300人、授産施設200人、短期12人)  
〒999-0134 川西町大字下小松2045番地の20  
TEL 0238-42-4161 FAX 0238-42-4343

- 知的障害者授産施設「あさひ寮」 (入所定員100人短期入所定員3人)
- 知的障害者授産施設「こだま寮」 (入所定員100人短期入所定員3人)
- 知的障害者更生施設「しらさぎ寮」 (入所定員100人短期入所定員1人)
- 知的障害者更生施設「ひめゆり寮」 (入所定員100人短期入所定員2人)
- 知的障害者更生施設「まつのみ寮」 (入所定員100人短期入所定員3人)
- 希望が丘まつかぜデイサポート (利用定員21人：生活介護15人・生活訓練6人)
- 地域福祉支援センター (サポートセンターコロコロ：川西町)
- 総務課、管理課、診療所
- 在宅心身障がい児者保養訓練センター「まつかぜ荘」
- 希望が丘共同生活事業所 (3か所：一体型、合計利用定員68人、住居数13か所)
- 希望が丘東置賜共同生活事業所 (定員29：住居川西4高島2)
- 希望が丘西置賜共同生活事業所 (定員12：住居白鷹1長井1)
- 希望が丘川西共同生活事業所 (定員27：住居川西5か所)
- 地域での施設外作業所4か所 独自事業 (長井市豊田、長井市台町、川西町上小松、米沢市中央)
- 地域での生活実習ホーム3か所 (長井、川西、米沢) 独自事業

### 米沢市

**身体障害者更生施設「梓園」** (入所定員70人、短期入所定員2人、通所定員15人)  
〒992-1202 米沢市三沢26100番地の14  
TEL 0238-22-0398 FAX 0238-22-0338

**サポートセンターあずさ**  
米沢市中央一丁目9番25号 米沢ショッピングビルポポロ1階  
TEL/FAX 0238-24-4335

- 指定相談支援事業所 (米沢市及び高島町)
- 生活支援センター 1か所 (米沢市中央) 園独自事業
- 地域での生活実習ホーム1か所 (米沢市) 園独自事業

## 身体障害者更生施設 梓園（米沢市）

## ～地域生活移行推進の取り組み～ 地域でその人らしく暮らすために

## 1. 地域生活移行推進の取り組みについて

平成14年、支援費制度開始を翌年に控え梓園は「更生施設としての役割を明確にする」という方針を打ち出し、梓園利用者の地域生活移行を推進してきました。

それまでも地域生活移行支援は行ってきましたが、「地域生活ができる人は特別な人」という思いが利用者の方には強かったと思われます。また、職員も地域生活を始めるためにどのような準備が必要か、どのように支援していけばよいか、活用できる制度や社会資源の知識を持たないなどのために、利用者の方の真の思いを汲み取り、希望に向けて膨らませていく支援ができていなかったように思います。

平成15年の支援費制度開始以降、NPO法人からのバリアフリー住宅やケア付共同住宅への入居斡旋があり、地域生活に移行された利用者の方は順調に増えてきました。もちろんそのほかにも単独での地域生活を始められた方、家庭での生活に戻られた方もいます。その地域生活移行に向けた支援は、県外の居住を希望する方などひとりひとりの思い・状況・環境の違いからどれ一つ同じものはありませんでした。

また、身元引受人がないために支援途中であきらめなくてはならなくなった方、体調の悪化から思いをとげられなかった方、まだまだ一般の方々の理解が不十分な障がいや病気のために支援が進まない方など、抱える課題はたくさんあります。

昨年度は高次脳機能障害について学ぶ機会を設け、障がいの理解・支援の方法について深めてきました。今年度は重度重複障がいの者の地域生活支援について学び、どんなに障がいが高くても、あきらめることなく地域生活ができるということを、本人も家族も支援者も心から思えるように学んでいきたいと思いました。

また、これからの支援のために、今まで経験してきたこと、活用した制度や社会資源の知識などを、まだまだ未熟ではありますが、携わった職員が伝えて行くことが必要と思ひ地域生活移行マニュアルの作成に取り組みました。

## 2. 平成18年度職場内活性化事業としての取り組み

- ① 梓園社会福祉セミナー
- ② 視察研修
- ③ 地域生活移行マニュアル作成

## 取り組みをととして

「重度障がいの者の地域生活支援」という内容で、梓園社会福祉セミナーと視察研修は知的にも身体にも重度の障がいを持ち、住環境面、医療面、介助の面において多大な配慮を必要とする方の地域生活を支援している横浜市にある社会福祉法人「訪問の家」を視察研修してきました。

その中から得たものは、あらためていうまでもないのですが、ご本人が自分らしく生き生きとした生活ができるよ

うに支援することの大切さでした。そのためには、さまざまな人との関わりの中で互いに認め合い、影響し合い生活する地域が必要なことを確信しました。どんなに障がいが高くてもあきらめることなく地域で生活していくことができるように、支援者はさまざまな方法を考え、実践していく必要があると思いました。

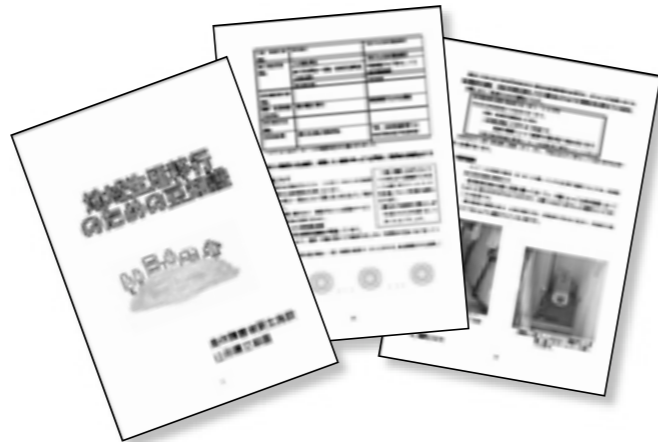
今年度梓園では、重度の障がいのある方の地域生活移行はありませんでしたが、すでに地域生活をされている方の支援を継続して行っています。ご本人と地域との架け橋になるように今回の取り組みを役立てていきたいと思ひます。

また、地域生活移行マニュアルは、移行のためのプログラムなど、明確なものがまだないため、地域生活移行に必要な重点的な項目に関して、活用できる制度やサービス・社会資源の情報や利用のしかたなどをまとめました。

そのため「地域生活移行のための豆知識」として作成しました。今後もよりわかりやすく役立つものに改善していきたいと思ひます。

梓園の利用者・支援者だけでなく、これから地域生活を始めようとする方、支援する方などに参考にしていただければ嬉しく思います。

作成にあたり、米沢市社会福祉課をはじめ、ご協力いただいた関係機関の方々に感謝申し上げます。



「地域生活移行のための豆知識」  
梓園地域生活推進委員会編 全12P  
ご希望者には実費でお分けいたします。  
下記にご連絡ください。  
こ～んな内容が分かりやすく書いてあります。  
1. 生活編 2. 介護編 3. 経済編 4. 安心編  
お問合せ 身体障害者更生施設 梓園 <sup>あずさえん</sup>  
電話 0238-22-0398

## 「障がいの者の社会参加推進拠点作り事業」に取り組みました。

## ～山形県総合コロニー希望が丘こだま寮～

希望が丘こだま寮では、平成18年度独立行政法人福祉医療機構「平成18年度高齢者・障害者福祉基金（地方分）助成」による「障がいの者の社会参加推進拠点作り事業」に取り組みました。

この事業は「食事」と「スポーツレクリエーション」の領域に焦点をあて、現在、地域の作業所として活用している「豊田工房」を拠点に「食育推進事業」と「スポーツ交流事業」のソフト・ハード両面にわたっての活動を展開することで障がいの者の社会参加と自立を推進しようとしたものでした。

実践することによって、地域との関わり大切さと、ネットワークづくりの難しさと必要性、そして、人と人との結びつきによりいかに障がいをもつ方々の生活を生き生きとしたものに変えていくのかを実感することができました。そして、スポーツのルールを学ぶことにより社会のルールを学ぶことができ、食事を作ることを通しての自分探しに新しい発見を見出すことができたことは素晴らしい体験だったと思っています。

この事業の成果物として、食育の考え方をベースにまとめ、管理栄養士 酒井節子氏の監修をもとにつくられた「障がいの者のための調理ガイドブック」や気軽に楽しめる2つのスポーツとして「グランドゴル

フルールブック」「フットベースボールハンドブック」をNPO法人宮城県レクリエーション協会事務局長 佐々木文子氏の監修でまとめたものをご紹介します。ご希望の方は下記までご連絡下さい。（写真のバッジは講習・交流会の参加賞です。）

ひとつの事業を終了し、人との出会いこそが最も大きな成果物だと思っています。そして、障がいの者の社会参加には「健康・食事・余暇」のトータルサポートが必要であることも再認識致しました。

この一年間私達の事業に御協力いただいた方々に改めて感謝申し上げます。そして、これからもこの事業を継続し、障がいの者の社会参加づくりにチャレンジしていきたいと思っています。



お問い合わせ こだま寮 Tel.0238-46-3101

## レキシコン

【レキシコン】  
lexicon: ギリシャ語・ラテン語・ヘブライ語の辞典。

## 障害者自立支援法に基づく指定相談支援事業

障害者自立支援法では、市町村の必須事業として相談支援事業が地域生活支援事業の中に位置づけられました。

特に計画的な支援を必要とする者を対象に、サービス利用のあっせん・調整などを行うための給付（サービス利用計画作成費）も、制度化されました。

また、市町村の責任で総合的な相談支援を行うとともに、システム作りに関し中核的役割を果たす協議の場として「自立支援協議会」の設置運営も義務化されています。

一般的・総合的な相談支援業務としては、①障がいを持った方々や家族等が、福祉サービスの利用や情報等について、いつでも気軽に相談することができるようにすること。②利用者の心身の状況を把握し、ニーズに沿ったサービス計画を作成し、サービスの調整や評価を行い、利用者にとって適切なサービス利用になっているか管理を行うこと。（ケアマネジメント技法）③保健・医療・福祉サービスの利用

に係る助言や指導、人間関係、健康管理、金銭管理等の生活支援業務、権利擁護への必要な援助、専門機関の紹介等を行うこと。④地域の障害福祉に関するシステムづくりに関し、定期的な協議の場としての地域自立支援協議会の運営や相談支援事業者等に対する専門的な指導・助言を行うこと。それに、専門的な相談支援等を要する困難ケース等への対応などがあります。

県内の市町村では、直営で実施するか、又は指定相談支援事業所へ委託を行い実施することもできます。

当法人では、平成19年4月1日から県内4か所、市町村の委託を前提に指定相談支援事業所を開設する準備を行っています。在宅障害者及び家族等にとって信頼と安心できる相談支援事業所が身近な地域で相談できるよう基盤整備が必要です。また、事業所には、相談支援の継続性・包括性・専門性そして中立性が強く求められます。

# T O P I C S

## 山形県社会福祉事業団主催のセミナー・シンポジウム・研修等の開催状況について (H18年度)

昨年度行いました、公開セミナー、研修会、委託研修をまとめました。変化の激しい福祉環境にあって、今日的な内容を公開し福祉関係者のみならず、地域住民の方にも多数ご参加いただいております。今後も各種セミナーにご期待ください。

名称	内容	対象者・参加者人数	実施日・時期	主催施設	備考
みやま荘地域健康運動教室	健康講話・実技 地域住民への運動普及と交流	地域住民 40名 利用者・職員 40名	平成19年 1月10日	みやま荘 (河北町)	
今泉福祉村 ボランティア講座	・ボランティアから始めよう ・障がいってなんだろう ・支援(者)は風のように ・地域ってすばらしい ・なっとく、経済学から見たみんなの福祉	福祉・ボランティアに興味、関心のある市民 50名	年間6回 5月～9月 第4日曜日 11月5日	泉荘 (長井市)	
2006 エイブルアートフェスタ in長井	・トークセッション テーマ 生きるXアート ・アートワークショップ ・シネマスコープ(映画上映)心の杖として鏡として ・アートギャラリー	障がい者の表現活動や、芸術文化に興味、関心のある市民 350名	10月27日 10月28日	泉荘 (長井市)	共催: (エイブル・アート・フォーラム山形実行委員会)
今泉福祉村セミナー	・記念講演 「なっとく、経済学から見たみんなの福祉」 講師 慶応義塾大学商学部教授 中島 隆信氏	地域の皆さん、地域福祉・ボランティア活動など福祉に関心のある方 70名	11月5日	泉荘 (長井市)	
梓園社会福祉セミナー	～こんな暮らしがしたい こんな暮らしもある～ 講演「重度障害者の地域生活支援」 講師 十愛療育快横浜療育医療センター生活援助部長 増淵 晴美氏 パネルディスカッション	障害当事者・家族・地域住民・福祉医療関係者 130名	9月9日	梓園 (米沢市)	
すずらん塾	障害の正しい理解と適切な援助技術の普及・定着を図る事を目的に、医療・心理・療育技法に関する研修を行う	福祉・教育・医療など、自閉症児者及び関連領域の療育に携わる方 定員80名	10月26日 10月27日	しらすぎ寮 (川西町)	
自閉症療育研究協議会	自閉症の療育支援の研究を行い、療養システムネットワークの構築を図る事を目的に実施する	置賜・村山圏域の更生施設・養護学校の職員 30名×4回	6月22日 8月31日 11月30日 12月21日	しらすぎ寮 (川西町)	
第7回地域生活支援セミナー inおきたま	講演「笑顔の親でいたいから」 講師 前川孝子氏 ビデオ上映「まなぶ、はたらく」 語り部「思いのままに生きていく」 パネルディスカッション	障害当事者・家族・地域住民・福祉関係職員・ボランティア 115名	10月15日	置賜障害者就業・生活支援センター(サポートセンターおきたま) (長井市)	山形労働局後援
2006地域生活支援セミナー in庄内	講演「いわき福音協会障害者総合生活支援センターの取り組み」 シンポジウム 「障害者雇用制度と庄内地区での取り組み」 「生徒の将来へ向けて」 「家庭の延長線上にある心豊かな福祉を目指して」	障害者・ご家族地域支援に携わる関係者及び関心のある方 142名	10月29日	吹浦荘(遊佐町)庄内障害者就業・生活支援センター(サポートセンターかでの) (酒田市)	山形労働局後援
地域生活支援センターういんず 精神保健福祉啓発事業	講演「こころの健康を考える～地域のみんなで支えあう町に」 講師 高崎健康福祉大学健康福祉部長 相沢 興一氏	地域住民、障害当事者 家族関係者 福祉・病院関係職員 146名	平成19年 2月27日	西村山精神障害者地域生活支援センターういんず (河北町)	
エリアフリー・フォーラム 2006	《夢のまんま。音楽祭》 ・山響の特別演奏会 ・世界でひとつだけの歌発表 ・音楽仲間の発表	障害当事者、家族、地域住民、福祉関係者、ボランティア 約500名	11月23日	事務局	共催: (山形県、山形県人権啓発活動ネットワーク協議会)
健康運動セミナー	講演「膝痛のメカニズム」 実技「膝イタイタへの運動の実際」 講師 快フィットネス研究所所長 吉井雅彦氏	福祉施設職員、健康づくりに関心のある方 57名	9月20日	事務局	健康運動部会
第6回山形県障害者 ディスクゴルフ大会	ディスクゴルフ・レクリエーションゲーム	県内在宅障害児・者 98名	10月9日	事務局	(山形県障害者フライングディスク協会)
山形県離転職者職業訓練事業 (障害者対象委託訓練)	「調理サービス科」 障害を持ち仕事を求めている方に、仕事に必要な知識と技能を習得して就職を目指します	知的障害者 2名	5月16日～ 8月9日	泉荘(長井市) 事務局	受託(山形県)
		知的障害者 1名	12月14日～ 3月13日		
	「訪問介護養成科2級課程」	精神障害者 2名	8月24日～ 11月22日	事務局	受託(山形県)
		知的障害者 5名 精神障害者 7名	5月23日～ 8月11日 8月31日～ 11月24日		

名称	内容	対象者・参加者人数	実施日・時期	主催施設	備考
山形県離転職者職業訓練事業 (緊急再就職促進訓練)	「訪問介護養成科2級課程」 就職するにあたり、職業能力の開発を必要とする求職者に対し訪問介護員2級資格取得をし、再就職を促進する	一般 24名	12月13日～ 2月9日	事務局	受託(山形県)
平成18年度 山形県認知症介護実践研修	認知症実践者研修 Ⅰ期 座学、実習、全体報告会 Ⅱ期 座学、実習、全体報告会 Ⅲ期 座学、実習、全体報告会	県内の施設、事業所の介護業務関係職員 3回計197名	6月5日～ 7月14日 7月31日～ 9月13日 1月22日～ 3月5日	事務局	受託(山形県)
	認知症介護実践リーダー研修 座学、実習、全体報告会	県内の施設、事業所の介護業務関係職員 20名	10月3日～ 11月7日		
	認知症介護サービス開設者研修 座学、実習	県内の施設、事業所の開設者 24名	12月8日～ 12月12日		
	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 座学	県内の施設、事業所の介護業務関係職員 25名	平成19年 1月31日～ 2月1日		
	認知症介護実践リーダーフォローアップ研修 全体発表会・講演	H17年実践研修受講修了者 24名	12月19日～ 12月20日		
	認知症対応型サービス事業管理者研修 座学	県内の施設、事業所の介護業務関係職員 3回計63名	6月13日～ 6月14日 8月7日～ 8月8日 1月29日～ 1月30日		

※上記以外にも多くのセミナー・シンポジウム・研修等を開催しています。ここでは、参加人数が概ね50名以上のものを載せました。  
※受託事業(山形県離転職者職業訓練事業、山形県認知症介護実践研修)や共催事業も含まれています。

## 障害者施設の利用状況について

当法人が運営する障害者施設の入所利用状況は下記のとおりです。  
なお、入所(短期を含む)等ご利用の向きがありましたら、3,4ページ掲載の施設に直接お問い合わせをお願いします。  
施設別入所利用状況(平成19年4月1日現在)

種別	施設名	定員	在籍者数			受入可能数		
			男	女	計	男	女	計
救護施設	みやま荘	100	65	35	100			0
救護施設	泉荘	80	48	30	78		2	2
身体障害者更生施設	梓園	70	42	12	54	7	9	16
身体障害者授産施設	鶴峰園	50	37	14	51			0
身体障害者授産施設(通所)	ワークショップ明星園	32	27	6	33			0
知的障害者更生施設	吹浦荘	70	35	35	70			0
知的障害者更生施設	慈丘園	70	35	30	65		5	5
知的障害者授産施設	希望が丘「あさひ寮」	100	46	36	82	4	14	18
知的障害者授産施設	希望が丘「こだま寮」	100	50	36	86		14	14
知的障害者更生施設	希望が丘「しらすぎ寮」	100	50	42	92		8	8
知的障害者更生施設	希望が丘「ひめゆり寮」	100	49	46	95	1	4	5
知的障害者更生施設	希望が丘「まつのみ寮」	100	53	44	97		3	3

## 社会福祉専門職としてのレベルアップをめざして～資格編～

社会福祉施設は地域社会にとって大切な社会資源となっています。そして、そこに働く職員も地域における福祉社会を形成する意味で、貴重な人材(人材)となる必要があり、様々な資格取得にも積極的にチャレンジしています。

資格名	資格所管	取得人数(人)
社会福祉士	国家	52
介護福祉士	国家	71
精神保健福祉士	国家	16
介護支援専門員	都道府県	93
看護師	国家	27
准看護師	都道府県	13
管理栄養士	国家	12
栄養士	国家	2

資格名	資格所管	取得人数(人)
調理師	都道府県	29
作業療法士	国家	2
理学療法士	国家	5
音楽療法実践者(加賀谷式)	民間	41
健康運動指導士・実践指導者	民間	15
福祉住環境コーディネーター2級	民間	1
福祉レクリエーションワーカー	民間	1



(H19.4.1 現在)

## NTT東日本山形マッチングギフトプログラムによる「軽自動車」の寄贈について

NTT東日本山形支店及びNTT東日本一山形から「NTT東日本山形マッチングギフトプログラム」により、軽自動車の寄贈を受けました。



NTT東日本山形マッチングギフトプログラムとは、社員920名の自発的な募金活動で得た募金に会社も同額を寄付し、公共性・公益性の高い非営利活動を行っている福祉施設等に対し寄付を行うものです。NTT民営化10周年を記念し、会社と社員が一体となって地域社会へ貢献することを目的に平成7年からスタートし、今年で12年目となっています。この間、53の施設に電動介護ベット・車椅子・軽自動車等、約1,700万円の寄贈を行っています。



贈呈式は平成19年3月27日（火）山形市の緑町会館前で行われ、NTT東日本山形支店の鈴木康之支店長と社員代表の前田 稔NTT東日本山形社会貢献推進会議代表が山形県社会福祉事業団を訪問し、細野武司事業団理事長に目録ならびに小関征一事業団常務理事にレプリカキーの贈呈がありました。

## あつみ温泉のんびり

春の陽ざしに誘われ、そぞろ歩いて朝市に。小川のせせらぎの瀬音を聴きながら、ふと見上げれば桜並木、ちょっと時間をかけて足湯に浸り遠い思い出に我をいぎなう…そして、やっぱり温泉！「ゆったり」「ゆかに」楽しんではいかがでしょうか。雪解けとともに顔を出す山菜は豊かな温海の自然が生み出す贈り物であり、多彩な風味で楽しんでいただければ幸いです。地物の鮮魚を使った刺身、ご予算に応じた増料理、各種イベント（4/26・健康相談及び体操5/23・第1回カラオケの夕べ6/14・歌謡、舞踊上演6/28・健康運動実践講座）、タオル、歯ブラシ、カラオケも無料で提供しています。また、全室畳表替え（3/27終了）、1階廊下じゅうたん張替え（3/22終了）をして職員一同皆様のおいでをお待ちしております。寿海荘おすすめスポットは、「敷地内の桜のライトアップ」です。（必見の価値あり）



山形県福祉休養ホーム  
あつみ温泉 **寿海荘**

〒999-7204 山形県鶴岡市湯温海字湯之里88-1  
**TEL:0235-43-4173**

## おしらせ

第6回「実践報告集」がホームページ上で公開されています。  
平成18年度「福祉QC報告集」ができました。ご希望者には実費にて頒布します。